



# ひょうぐやつうしん 表具屋通信

No.14 2025年12月15日

発行 清泉堂関口表具店

川越市的場新町9-1

☎ 049-277-4918

<https://www.sekigutihyougu.com>



記録的な猛暑の後、待望した秋は慌ただしく過ぎ、朝晩の寒さが身に染みるころとなりました。気付けば今年も残りわずか。皆様お忙しい日々をお送りのことと存じます。本年も格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。

「エシカル消費」って言葉、ご存じですか？エシカルは倫理的・道徳的という意味で、「よりよい社会に向けた、人や環境、社会、地域に配慮した消費行動」のこと。ごみや食品ロスの削減、地産地消による輸送コストの削減などもこれに該当します。商品が生産される地域や労働環境に配慮し、支援する取り組みも然りです。11月に開かれた内装材の見本市『JAPANTECH』でも、メーカーこぞってエシカルをテーマに新商品を発表しています。気候変動、環境問題が深刻さを増す昨今ですが、便利さと優しさが共生する持続可能な商品と丁寧な仕事を心掛けてまいります。

## ～壊さずキレイ！浴室床のリフォーム「バスナフローレ」～

冷たく硬い磁器タイルの床、傷や汚れが目立つユニットバスの床面。壊さずキレイにできます。

(株) 東りのビニル床シート「バスナフローレ (3.5mm厚)」。優れた断熱性とエンボス形状の柔らかなクッションが、滑りの危険を防止。転倒時も衝撃を吸収します。高齢者の事故のリスクを軽減するうえ、膝つき姿勢が楽になりますので、介護する側にも優しい素材です。工事は1日程度で完了。お気軽にご相談ください。

## ～那須楮の産地 大子町「楮の皮剥き」～

2月、茨城県大子町の斎藤邦彦さんを訪ね、地元の方々やボランティアの人と2日間、楮の皮剥きを体験させていただきました。斎藤さんは大子那須楮保存会の会長を務められ、「大子那須楮」の栽培から加工・販売までを手掛けています。大子那須楮は繊維が細かく、本美濃紙や奉書紙などの高品質な和紙の生産に欠かすことのできない原料ですが、安価な輸入楮に押された需要減、生産者の高齢化、後継者不足が深刻な状況となっています。早朝から日暮れまで1日7回、蒸し上がった楮の皮を丁寧に黙々と剥き続けます。立ち上る蒸気の甘い香り、休憩中の親方夫妻や皆さんとの楽しい会話。貴重な経験、継続していきたいと思います。

## ～四季から二季へ!?～ おかみのコラム

近年、夏の厳しい暑さが長く、暑さが落ち着いたと思う間もなく、冬の厳しい寒さが到来すると感じている方も多いのではないかと思います。今年の新語・流行語大賞のトップ10でもある『二季』。春・秋を感じられる気候がとても貴重に感じます。また、冷暖房を使用せず、窓を開けて網戸で過ごす期間も短くなったように感じます。皆様はどの季節が好きですか。私は春が好きです。冬の厳しい寒さも和らぎ、日も長くなり、心地よい暖かさの中で過ごすことができるからです。また、毎年、ピンクに染まる桜の時期が楽しみです。桜の咲く時期が待ち遠しいですが、今、日々を過ごしているその季節を楽しみながら過ごしたいものです。

## ～一年を振り返って～

「2025年都道府県魅力度ランキング」で埼玉県が初の最下位😞。ただ、私は埼玉の街も人も好きです。

静かなスタートから一転、3月は工期に追われました。寄居の現場では隣を走るローカル線と菜の花畑、若葉に癒され、武蔵台の現場ではテラスから見える日和田山の新緑と夜景の美しさに感動。新築お茶室の内装工事、アパートの改修工事では、お施主様や大工さんの要望をお聞きし、時間をかけて進めました。梅雨時期、毎週休日返上での事務所内装工事と在宅現場。お世話になった学校の内装工事や、懐かしいお客様からの久しぶりのご依頼。夏の家族旅行は前日に高熱を出しながら奇跡の回復で乗り切りました。秋には一人夜行バスで、日帰り「京都金地院八窓席」見学旅行。緊張の連続だった渋谷のお茶室、入間の襖絵修復。たくさんのお力添えをいただき、無事1年を終えることができます。皆様くれぐれもご自愛いただき、来年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



大子町での作業を終えて



小川和紙を使用した下張作業



所沢市 M 様邸茶室障子



鶴ヶ島太田ヶ谷沼の夜桜